

「ビジネスプロデューサー養成講座」

東北活性研ビジネスプロデューサー養成講座及び、東北活性研ビジネスアライアンス講座の修了生を主たるメンバーとし、ビジネスを創造する能力の向上、フィールドアライアンスの実践を目的として『東北活性研ビジネスプロデューサー養成講座「第9回ブラッシュアップ研究会」「第10回ブラッシュアップ研究会」』を開催した。

平成28年度は2回開催し、通算で10回の開催となった。

《第9回ブラッシュアップ研究会》

『産学官連携でちょっとリアル？に開発会議してみませんか！』

ビジネスプロデューサー養成講座及び、ビジネスアライアンス講座で学んだビジネスモデルづくりの経験を活かし「産・学・官」をキーワードに3つのテーマ（グループ）に分かれ、グループワークを通じて参加者（自社）のアイデアを持ち寄り、ビジネスモデルの開発を行い発表した。

■開催概要

開催日時：平成27年9月2日（水）10：00～16：30

実施場所：仙台商工会議所 7階中会議室

参加人数：22名 ※参加者内訳 仙台2期生、3期生、4期生、5期生、6期生

福島修了生、岩手修了生、責任者、関係者 ほか

時 間	カリキュラム
10：00～	開会挨拶 公益財団法人東北活性化研究センター 専務理事 渡辺泰宏
10：10～	ミニ講話 システム・インテグレーション株式会社 代表取締役社長 多喜義彦 氏
10：30～	グループワークのガイダンス
10：35～	グループワーク テーマ：「どこでもバル」「病院内自動販売薬局」「無水公衆トイレ」
15：00～	グループワークの成果発表
16：20～	総評 閉会

【グループワークの様子】



【ビジネスモデルの発表の様子】



【開発テーマとまとめ】

(1) 「どこでもバル」

移動型のBARを使い、今まで調理が難しかった場所へ厨房施設を設置し、様々な方達へ、様々な料理を提供すると共にコミュニティの場も提供。

(2) 「病院内自動販売薬局」

薬局・薬剤師の業務効率を大幅に改善すると共に、薬局を地域の健康拠点とするためのサロン化。

(3) 「無水公衆トイレ」

無水トイレの活用方法について「トイレ」という物売りから脱却し、街づくりにおけるインフラ機能を提供。

《第10回ブラッシュアップ研究会》

『NECトーキン株式会社白石事業所見学会&講演会「ワープな開発」』

電子部品メーカーのNECトーキン株式会社白石事業所の見学及び、システム・インテグレーション株式会社 代表取締役社長 多喜義彦氏の講演会を開催。



【NECトーキン株式会社】

1938年、東北大学金属材料研究所が発明したセンダストの工業化目的で、東北金属工業株式会社を設立。1988年トーキンに、2002年NECトーキンに社名変更。素材型デバイス創造企業として、電子部品を製造販売するメーカーである。

【講演会 講師プロフィール】

システム・インテグレーション株式会社 代表取締役社長 多喜義彦氏
開発プランナーとして、新事業開発から商品の具体的開発、販売まで、幅広い分野を手掛け、約3,000件にもものぼる実績をもつ。現在40数社の技術顧問。

■開催概要

開催日時：平成28年2月3日（水）13:00～16:30

実施場所：NECトーキン株式会社 白石事業所

参加人数：25名 ※参加者内訳 仙台1期生、3期生、4期生、5期生、6期生

福島修了生、岩手修了生、青森修了生、

東京BP修了生 ほか

講演会のみNECトーキン社員も参加（40名程度）

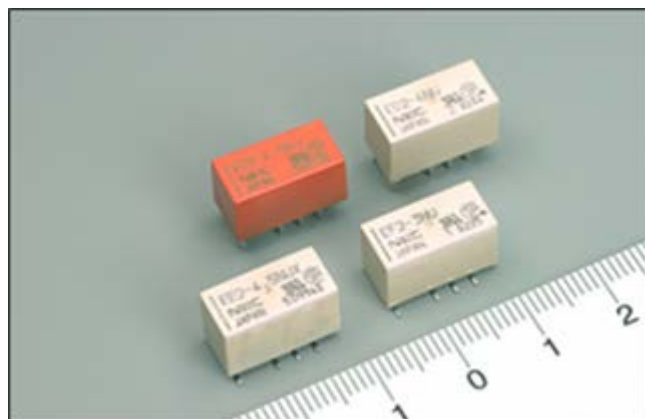
■概略行程

- | | |
|-------|---|
| 12:00 | 仙台駅出発 |
| 12:50 | NECトーキン株式会社白石事業所 到着 |
| 13:00 | 事業所見学
・挨拶
・会社概要説明
・工場見学
・質疑応答 |
| 15:30 | 講演会
システム・インテグレーション株式会社 代表取締役 多喜 義彦 氏
講演テーマ:「ワープな開発」 |
| 16:45 | NECトーキン株式会社白石事業所 出発 |
| 18:00 | 仙台駅到着 |

■事業所見学

車載用の電装部品等に使用されている「リレー」や、電子機器の雑音制御シートとして使用される「バスタレイド」の生産ラインの見学を行った。

【小型リレースイッチ】



【バスタレイド】



【工場見学の様子】



【集合写真】



■講演会

これからの開発にはワーブが必要不可欠となってくる。「ワーブとは?」「開発には何故ワーブが必要なのか?」 具体的事例も交えてお話をいただいた。



■アンケート結果

いわゆる“工場”という場所の見学は初めてでしたが、自分なり（小売業として）に気づきや発見が数多くあり、とても勉強になりました。楽しくてビジネスヒントが得られとても感謝しております。

まったく違う業種の工場見学は新たな発見があり、また、自分が知らないだけで身の回りの製品に組み込まれていて、生活に欠かせないものだと思えました。質疑応答の中で、実際に開発者の苦労話を聞いたのは、貴重だと思いました。

本部長のご挨拶—工場見学—講演会に至る全ての過程において、NECトーキンさんの姿勢（おもてなし）が感じられた。技術力・製品紹介に留まらず、企業姿勢や従業員の意識統一まで考えさせられる中身の濃い研究会だった。

工場見学はとても勉強になりました。他社を見る事はとても刺激になります。また、多喜先生の講演は定期的に聞く事により、高いテンションを維持できます。

普段見ることのできない現場に入らせて頂けて、実際の工程を見ることができ大変勉強になりました。また、「バスタレイド」の開発秘話の苦しみやそれを乗り越えての主要製品（素材）化までのお話を伺えて、共感する部分やこれからに活かそうエッセンスを得られました。多喜先生のお話も、忘れかけていた「NOと言わない」の精神を思い出すことができ、とても有意義な講演でした。

講座の時の想いを再び思い出した（起こした）。→仙台まで来て良かった。

NECトーキンさんも知的財産権を非常に大切にしている点が良く分かりました。建設業自体には、まだ知的財産権やマーケティングの意識がほとんどありませんので、この様な場で勉強できる事は自分にとって大きな財産となります。